

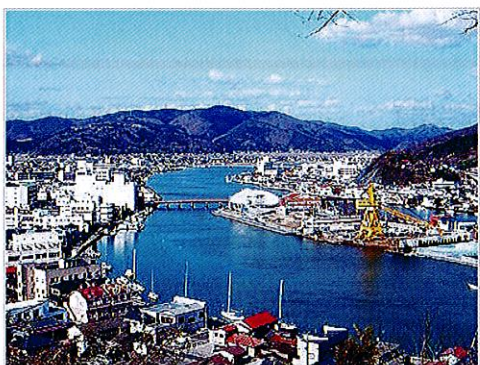
これからの地域を支えるための支援とは

みんなであらう！
考えよう！



日時 : 2015.02.07 (土) 13:30～16:00

会場 : 石巻市労働会館 (宮城県石巻市泉町2丁目5-26)



2011年3月に発生した東日本大震災。4年が過ぎようとしている今、直接被災された方だけでなく、住民全体の生活、住居、就労、教育、医療や福祉など、暮らしやすい地域の早期実現に向けて、市民、企業、行政セクターがそれぞれの役割を担いながら連携・協働して地域課題の解決に取り組むことが必要不可欠とされています。

今回のセミナーでは、石巻にしっかりと根をおろして日々活動を行っている方々のお話を伺いながら、誰しものがより住みやすい地域にしていくために今わたしたちが向き合うべきことは何なのか、皆さんと共にその具体策を考えていきたいと思ひます。

講師紹介



郡山 昌明 さん

仙台白百合女子大学
人間学部心理福祉学科准教授

大学卒業後、石巻と仙台の医療機関にて約20年ほど相談業務に従事。医療費の支払いや在宅復帰などの相談支援にあたる。その後、2003年仙台白百合女子大学に入職。現在は、精神保健福祉士の養成にかかわっている。

地域での活動としては、震災後に仙台市や石巻市、気仙沼市などで支援者のための支援を行っている。また、プライベートでは、岩沼市や山元町などで学生とともにボランティア活動なども行っている。



高橋 由佳 さん

特定非営利活動法人 Switch
(石巻 NOTE) 理事長

宮城障害者職業センターの配置型ジョブコーチとして障害者の就労支援に従事。その後、自らNPO法人を設立。障害福祉サービス事業所を立ち上げ障害者の就労支援を行う。昨年より石巻市に、困難を抱えた思春期・青年期の就学・就労支援機関「ユースサポートカレッジ石巻NOTE」を開設、若者の支援活動にあたっている。精神保健福祉士、産業カウンセラー、職場適応援助者(ジョブコーチ)、宮城県教育委員会スクールソーシャルワーカー。



橋本 大吾 さん

一般社団法人りぷらす代表理事
理学療法士

東日本大震災後、リハビリ専門職の支援団体を設立し、石巻市の支援活動開始。2011年石巻市へ移住。2013年1月「一般社団法人りぷらす」設立。「子供から高齢者まで病気や障がいの有無にかかわらず地域で健康的に生活し続ける事が出来る社会を創造する」を理念に活動。2014年1月リバイブジャパンカップ復興ビジネスベンチャー部門審査員応援賞受賞。



菅原 芳勝 さん

東北労働金庫石巻支店支店長

1979年旧岩手労働金庫へ入庫(現東北労働金庫)、2003年10月の東北6労働金庫統合後、秋田県、岩手県の支店勤務を経て、2009年東北労働金庫千歳支店長、2014年4月より現在の石巻支店にて勤務。